

## 河川事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	おぜがわ 小瀬川 総合水系環境整備事業					
実施箇所	小瀬川直轄管理区内					
当該基準	再評価実施後一定期間（3年）が経過している事業					
事業諸元	（水辺整備） ① -1大竹 地区（本町 箇所）河川管理用通路 [H19～（実施中）] 河川管理用通路、河川管理用階段、坂路 ①-2和木 地区河川管理用通路 [H14～（実施中）] 河川管理用通路、河川管理用階段、坂路 ①-3大竹 地区（元町 箇所）河川管理用通路 [H13～H14 年度] 護岸、河川管理用階段、坂路 ②小瀬 地区環境整備 [計画] 護岸、河川管理用階段、坂路					
事業期間	平成 13 年度～平成 35 年度					
総事業費（億円）	13.6 億円	残事業費（億円）	3.7 億円			
目的・必要性	<p>小瀬川は、広島県と山口県の県境に位置し、その源を中国山地の 鬼ヶ城山に発し、広島・山口県の県境を南流し、山口県 岩国市 美和町 釜ヶ原 と広島県 大竹市 栗谷 町 沖ノ窪 の県境で 玖島川 を合わせ南下し、蛇行しながら東方に流れを転じ、山口県 玖珂郡 和木町 と広島県大竹市の工業地帯を経て、瀬戸内海に注いでいる。</p> <p>小瀬川では、コンビナートが形成されている河口部を除き、現在でも豊かな自然や、昔から続く左右岸異なる文化が存在しているほか、子ども達の健やかな成長を祈る独特の風習である「ひな流し」も今なお続いている。</p> <p>（水辺整備）          《大竹 地区（本町・元町 箇所）、和木 地区河川管理用通路》          事業箇所周辺の川治いは、散歩やジョギング等、地域住民の交流や健康づくりの場として利用されている。しかし、川治いには交通量の多い堤防治いの道路のほかに歩行空間がないため、危険と隣り合わせの状況になっている。そのため、川治いを安全に移動することができる河川管理用通路などを整備する。</p> <p>《小瀬 地区環境整備》          小瀬地区は、山陽道を下って 安芸（広島県）から 周防（山口県）に入る関所に位置し、「小瀬川の渡し場」や「吉田松陰の歌碑」などの文化財を含め、数多くの利用がある。また、対岸には「中津原水辺の楽校」が整備されている。しかし、水辺に降りる河川管理用階段がなく、水辺では雑草や雑木が繁茂するなど、安全に水辺を利用することができず、対岸の「中津原水辺の楽校」との連携も図られていない。そのため、安全に水辺に近づくことができる河川管理用階段や坂路などを整備する。</p>					
便益の主な根拠	（水辺整備） ①-1～①-3 CVM ② TCM 全体事業：支払意志額＝ 302 円／世帯／月、受益世帯数＝ 24,839 世帯 残事業：支払意志額＝ 280 円／世帯／月、受益世帯数＝ 24,839 世帯 年間利用者数の増加：93,167 人					
事業全体の投資効率性	基準年度	平成 26 年度				
		B:総便益 (億円)	C:総費用 (億円)	B/C	B-C (億円)	EIRR (%)
	全体事業	26.9	18.0	1.5	8.8	5.5
残事業	25.6	3.4	7.5	22.2	28.3	

事業の効果等	<p>(水辺整備)</p> <p>&lt;大竹地区(本町・元町箇所)、和木地区河川管理用通路&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量が多い堤防道路ではなく、河川管理用通路を利用することにより、安全に河川沿いを移動でき、ウォーキングコースの周回利用が可能となる。</li> <li>・河川管理用通路の整備により、中市堰～栄橋(国道2号)において水辺利用の連続性が確保され、利用者の川への親しみが増す。</li> <li>・完成箇所については、朝夕の散策時間の利用者が多く、ウォーキング等のイベントでも活用されるとともに、地元自治会、漁協、NPO法人等による河川清掃が定期的に行われている。</li> </ul> <p>&lt;小瀬地区環境整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雑草や雑木が繁茂している水辺を整備することによって、安全に水辺の利用ができ、対岸の「中津原水辺の楽校」との連携も可能となる。</li> </ul>
社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿川の大竹市、岩国市、和木町の人口は、平成22年現在で合計約17.9万人であり、今後高齢化等により、大きく減少することが想定されている。</li> <li>・整備箇所は散策等の健康増進の場、水に親しむ場として多くの住民に利用されており、より安全に水辺が利用できるような整備が望まれている。</li> </ul>
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の進捗率は72.8%(事業費ベース)である。(総事業費13.6億円のうち、整備済みは9.9億円)</li> </ul>
事業の進捗の見込み	<p>&lt;大竹地区(本町箇所)、和木地区河川管理用通路&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年10月に「かわまちづくり」計画に登録され、地域と連携した川づくりが進められており、今後事業進捗する上で支障はない。</li> </ul> <p>&lt;小瀬地区環境整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺環境整備に対する地域要望は強く、事業実施にあたり地域の意見を取り入れながら行うこととしており、今後事業進捗する上で支障はない。</li> </ul>
コスト縮減や代替案立案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺整備にあたっては、近隣の別工事で発生する土砂を盛土へ流用すること等によりコストの縮減を図る。また、除草作業や清掃などは、地域住民との協力体制を確立することによりコストの縮減を図る。</li> <li>・事業の進捗状況、費用対効果を鑑み、継続実施が妥当であり、現状での代替案を検討する必要はないと考えている。</li> </ul>
対応方針(原案)	継続
対応方針理由	<p>以上から、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、継続が妥当である。</p> <p>今後の事業の実施にあたっては、地域と協力体制を確立するとともに、新技術・新工法等を活用し、コスト縮減に引き続き取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。</p>
その他	—

# 小瀬川総合水系環境整備事業

再評価 説明資料

平成26年12月16日  
中国地方整備局 太田川河川事務所

# 1. 流域の概要

- 小瀬川は、広島県と山口県の県境に位置し、その源を中国山地の鬼ヶ城山、羅漢山などを擁する連山の広島県廿日市市佐伯町飯山に発し、広島・山口県の県境を南流し、山口県玖珂郡和木町と広島県大竹市の工業地帯を経て、瀬戸内海に注ぐ河川である。
- 江戸時代初期頃から安芸国（広島県）と周防国（山口県）の「国分けの川」として、度々領地紛争が繰り返されてきた歴史を持つ。
- 享和元年（1801年）に国境確定以降は活発に干拓が進められ、近年は、河口部において全国のコンピナートの先駆けとなる「大竹・岩国石油化学コンビナート」の発展により、物流や人々の交流も盛んになっている。
- 河口部を除き、現在でも豊かな自然や、昔から続く左右異なる文化が存在しているほか、子ども達の健やかな成長を祈る独特の風習である「ひな流し」も今なお続いている。

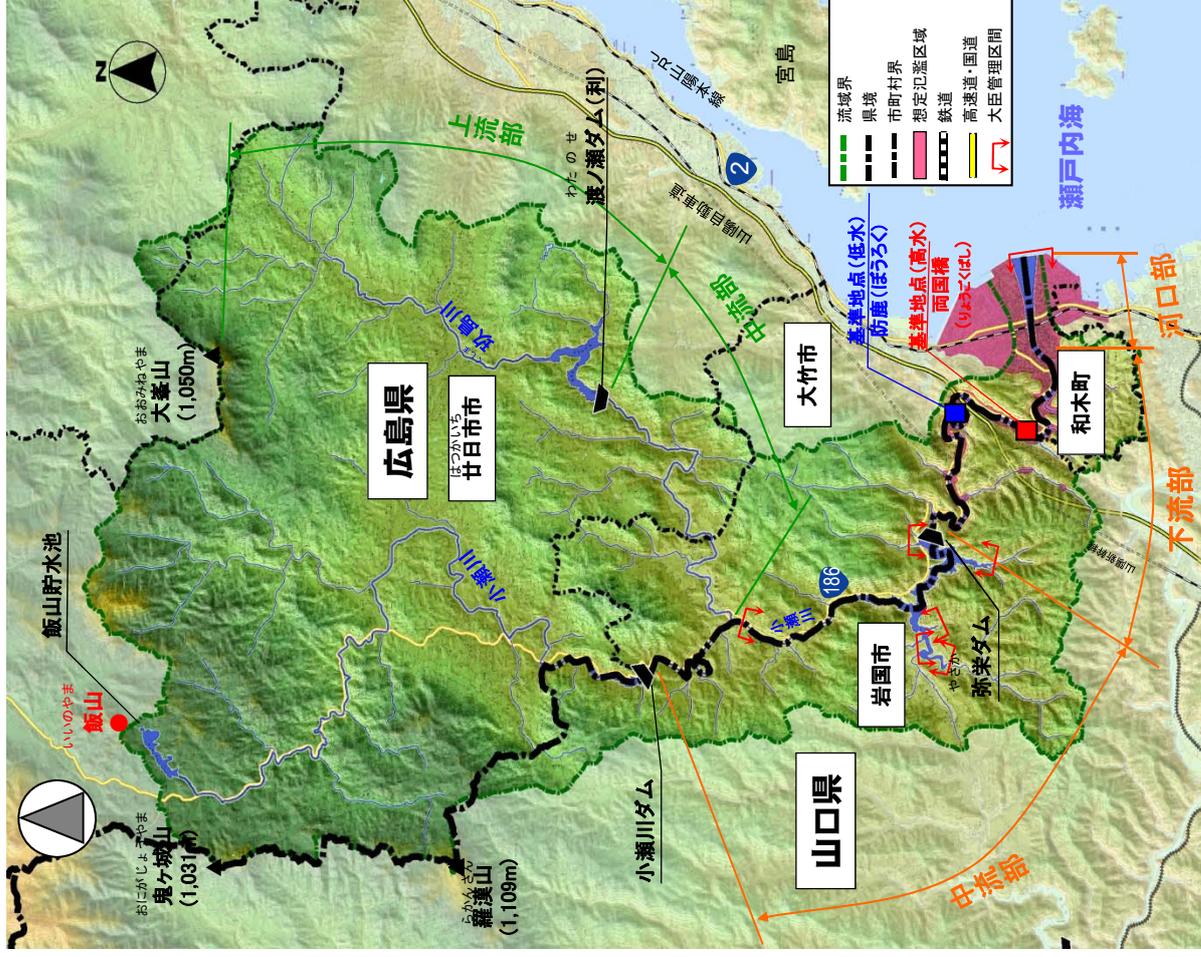
## 【小瀬川の諸元】

流域面積 : 340km<sup>2</sup>

幹線流路延長 : 59km

山地面積比率 : 約96%

流域内人口 : 約2万4千人



## 2-1. 小瀬川水系の現状及び利用状況

- 中流部では、広島・山口県指定名勝の「弥栄峡」や広島県指定天然記念物の「栗谷の蛇喰磬」などの特異な河川景観が見られ、河岸の露岸地にはキシツツジやツゲが点在する。
- 下流部は、流れが穏やかで瀬淵が連続しており、アユの産卵場となっており、アユの産卵場となっている瀬が見られる。護岸や水辺の楽校が整備され、伝統行事「ひな流し」が行われるなど、地域住民が川に親しむ場となっている。
- 河口部では、干潮時に干潟が出現し、潮干狩りの場として利用されるほか、春先にはシロウオ漁が行われている。大和橋付近では夏に花火大会が開催されるほか、河川管理用通路をウォーキングロードとして利用する市民が多く見られる。



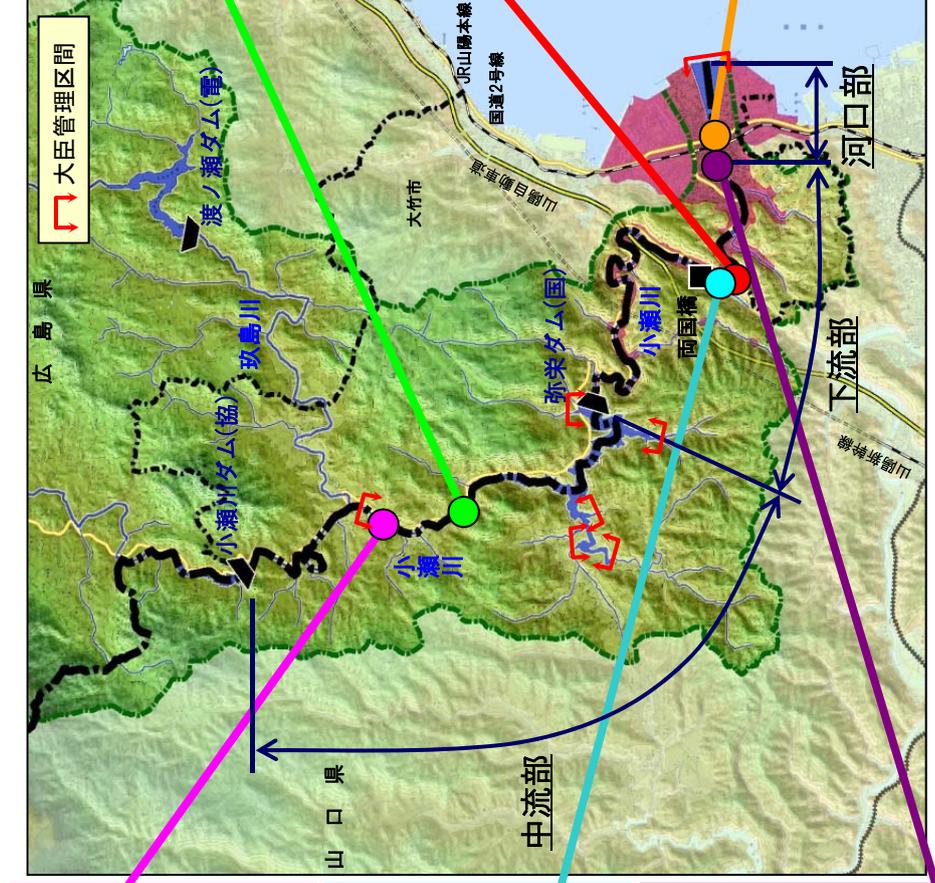
栗谷の蛇喰磬での水遊び



ひな流し



川まつり花火大会(和木町HPより)



弥栄峡



中津原水辺の楽校



潮干狩り

## 2-2. 小瀬川水系の河川環境に関する課題

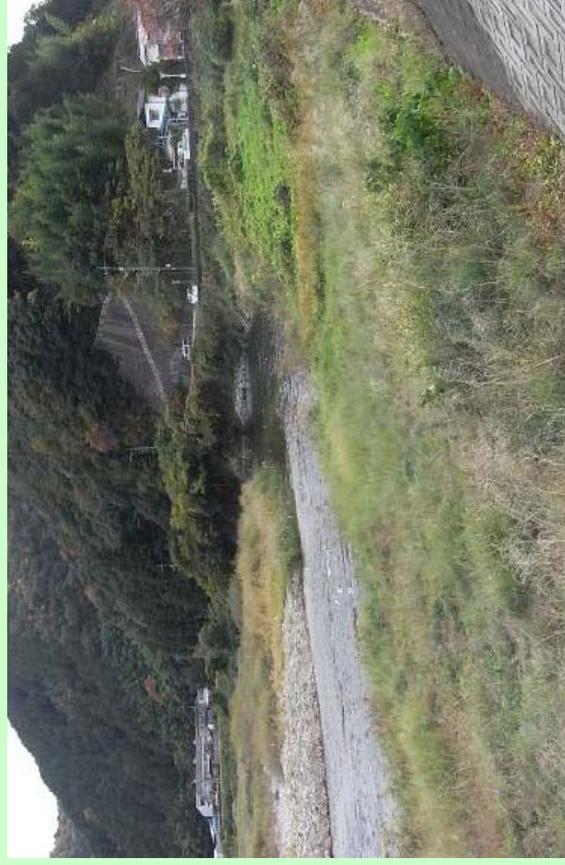
### ◆河川空間利用

- 河口部の川沿いは、散歩やジョギング等、地域住民の交流や健康づくりの場として利用されているが、川沿いには交通量の多い堤防沿いの道路のほかに歩行空間がないため、危険と隣り合わせの状況になっている。



車の多い堤防道路の利用（大竹地区）

- 下流部では、「小瀬川の渡し場」や「吉田松陰の歌碑」などの文化財が存在し、「中津原水辺の楽校」などが整備されているが、水辺では雑草や雑木が繁茂するなど、沿川地域から水辺や河川敷へ近づきにくくなっている。



水辺に近づきにくい護岸（小瀬地区）

## 2-3. 小瀬川水系のこれまでの環境整備事業の取り組み

小瀬川ではこれまで環境整備事業として、水辺整備事業（穂仁原水辺の楽校：H18年度完成、中津原水辺の楽校：H14年度完成）を実施している。

整備完了後、水辺の楽校では維持管理も含め近隣住民の幅広く利用されている。また、環境学習やひな流し等の伝統行事に活用されている。



穂仁原水辺の楽校（整備後）



中津原水辺の楽校（整備後）



穂仁原水辺の楽校（グラウンドゴルフ）



中津原水辺の楽校（水生生物調査）



穂仁原水辺の楽校（ひなながし）



中津原水辺の楽校（維持管理状況）

### 3. 事業内容

評価区分	No.	河川名	事業名	市町	事業年度	事業内容	事業費 (百万円)	評価手法	備考
再評価	①-1	小瀬川	【水辺整備】大竹地区(本町箇所)河川管理用通路	広島県 大竹市	H19~ (実施中)	河川管理用通路、河川管理用階段、坂路	526		
	①-2	小瀬川	【水辺整備】和木地区河川管理用通路	山口県 和木町	H14~ (実施中)	河川管理用通路、河川管理用階段、坂路	463	CVM	
	①-3	小瀬川	【水辺整備】大竹地区(元町箇所)河川管理用通路	広島県 大竹市	H13~H14	護岸、河川管理用階段、坂路	260		
	②	小瀬川	【水辺整備】小瀬地区環境整備	山口県 岩国市	(計画)	護岸、河川管理用階段、坂路	113	TCM	

緑字：計画  
赤字：実施中  
黒字：完成



---連区間で効果を発現するため一事業として評価

# 4-1. 整備内容

- ①-1大竹地区（本町箇所）河川管理用通路 H19～（実施中）
- ①-2和木地区 河川管理用通路 H14～（実施中）
- ①-3大竹地区（元町箇所）河川管理用通路 H13～H14

整備目的：川沿いを安全に移動することができる河川管理用通路などを整備する。

現状と課題：小瀬川河口部の大竹地区（本町箇所・元町箇所）、和木地区の川沿いは、散歩やジョギング等、地域住民の方の交流や健康づくりの場として利用されている。しかし、川沿いには交通量の多い堤防沿いの道路のほか、

整備内容：護岸、河川管理用通路、河川管理用階段、坂路

事業の効果：交通量が多い堤防道路ではなく、河川管理用通路を利用することにより安全に河川沿いを移動できる。

事業費：1,249百万円

箇所名	事業年度	事業内容	事業費 (百万円)
大竹地区 (本町箇所)	H19～ (実施中)	河川管理用通路、河川 管理用階段、坂路	526
和木地区	H14～ (実施中)	河川管理用通路、河川 管理用階段、坂路	463
大竹地区 (元町箇所)	H13～ H14	護岸、河川管理用階段、 坂路	260

## 【整備前】

大竹地区（元町箇所）整備前の状況



平成13年4月撮影

河川管理用通路が整備されていないため、歩いているそばを車が通り危険

- 河川管理用通路を整備する前は、車が多く歩道もない堤防道路を利用するため、安全に利用することができない。

## 【整備後】

大竹地区（元町箇所）整備後の状況



平成25年11月撮影

河川管理用通路が整備され、歩行者のみの通行となるため安全

- 河川管理用通路を整備することにより、安全に利用することができる。
- 整備箇所では散策やウォーキング等で利用されている。



- 事業の効果
- 交通量が多い堤防道路ではなく、河川管理用通路を利用することにより安全に河川沿いを移動できる。
  - 河川管理用通路の整備により、中市堰～栄橋（国道2号）において水辺利用の連続性が確保され、利用する方の川への親しみが増す。

# 4-1. 整備内容

## ②小瀬地区環境整備（計画）

**整備目的**：安全に水辺に近づくことができる河川管理用階段や坂路などを整備する。

**現状と課題**：小瀬地区は、山陽道を下って安芸（広島県）から周防（山口県）に入る関所に位置し、「小瀬川の渡し場」や「吉田松陰の歌碑」などの文化財を含め、数多くの利用がある。しかし、河川敷には雑草などが繁茂して、安全に水辺を利用することができない。

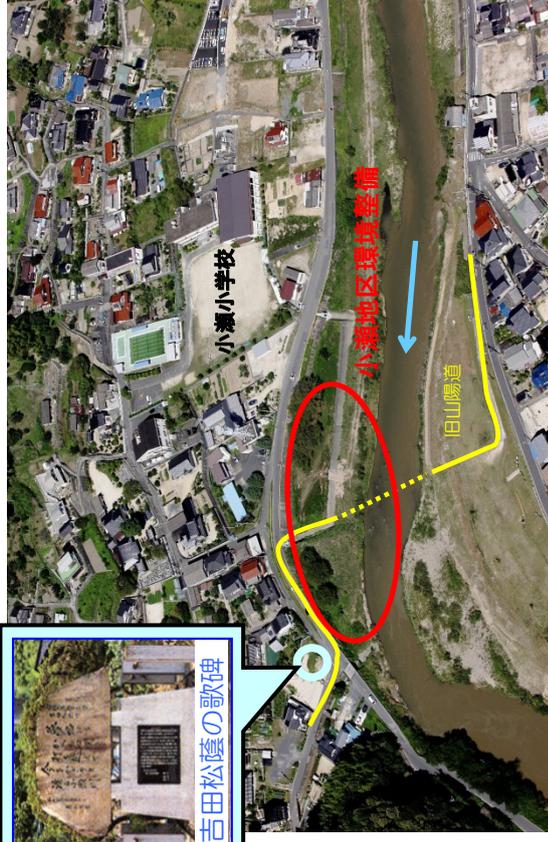
**整備内容**：護岸、河川管理用階段、坂路

**事業の効果**：雑草や雑木が繁茂している水辺を整備することによって、安全に水辺の利用ができる

**事業費**：113百万円



吉田松陰の歌碑



### 【整備前】

計画箇所状況



雑草や雑木が繁茂し、安全に利用できない

- 河川管理用通路を整備する前は、車が多く歩道もよい堤防道路を利用するため、安全に利用することができない。

### 【整備後】

整備後のイメージ



河川管理用階段や坂路が整備され、安全に利用できる

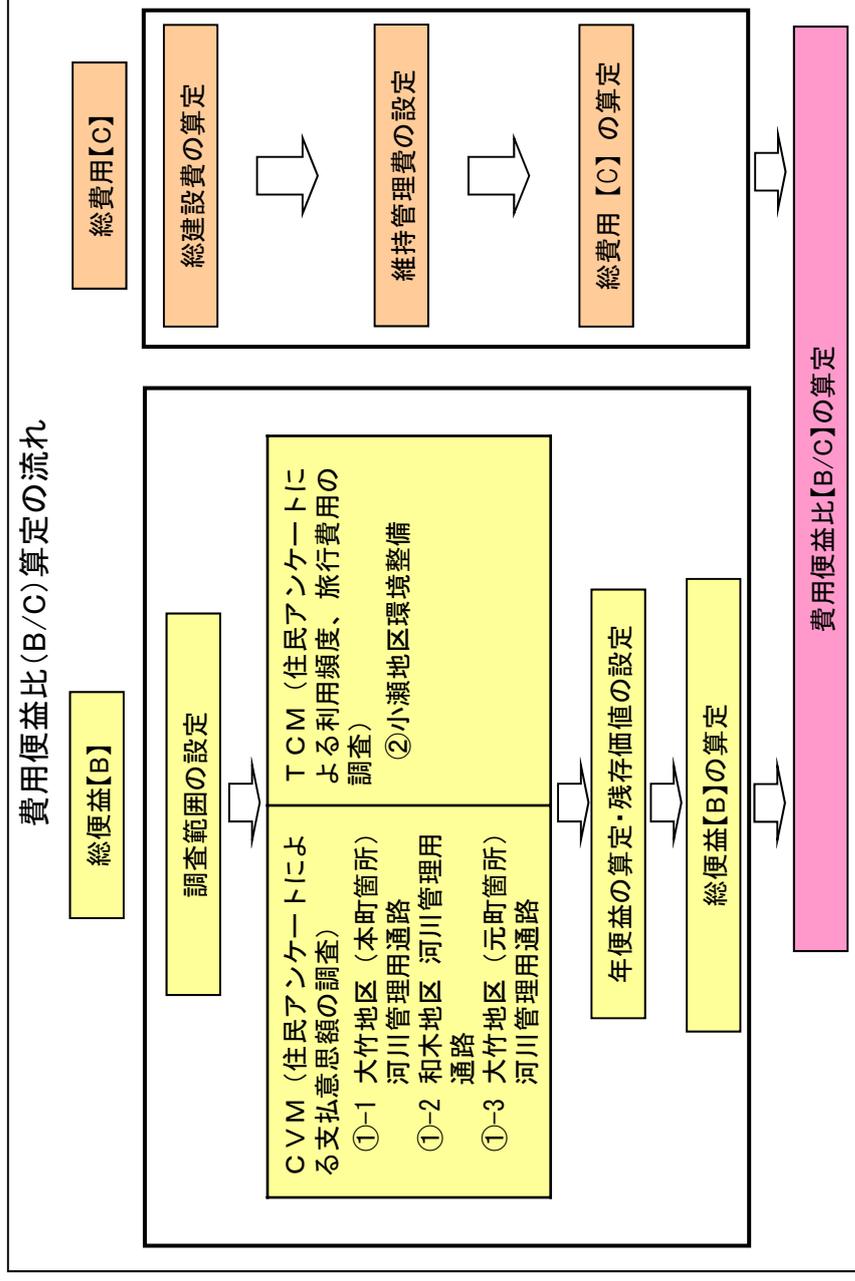
- 河川管理用通路を整備することにより、安全に利用することができる。

### 事業の効果

- 雑草や雑木が繁茂している水辺を整備することによって、安全に水辺の利用ができる。

## 4-2. 費用対効果分析

### (1) 費用便益比 (B/C) 算定の流れ



#### ●調査範囲の設定方針：下記の理由から前回調査時 (H23) 結果を踏襲する。

- ① 前回調査範囲の人口、世帯数や、事業箇所へのアクセスが改善される道路整備等、流域や近隣の社会環境について、前回調査を実施した平成23年度から大きな変化がなく、利用圏域が大きく変化していないと考えられること。
- ② 前回調査を実施した平成23年度から整備内容に大きな変更がないことから、住民の認知度等に対する考え方が変化していないと考えられること。

## 4-2. 費用対効果分析

### ●住民アンケート調査の実施方針

① -1 【水辺整備】大竹地区（本町箇所）河川管理用通路、① -2 【水辺整備】和木地区河川管理用通路

① -3 【水辺整備】大竹地区（元町箇所）河川管理用通路（CVM）

：下記の理由から今回、**住民アンケート調査を実施し**、今回評価の便益算定を行う。

- ・前回評価時から整備が進捗しており、残事業費が変化していることから、適正に再評価を実施する必要があるため。

②【水辺整備】小瀬地区環境整備（TCM）

：下記の理由から、**前回評価時の住民アンケート調査結果を踏襲するとともに、今回評価の便益とする。**

- ・**前回評価時から事業が進捗しておらず、事業費、需要量（人口、世帯数）に大きな変化がないため。**

### ●便益の計測

「河川に係わる環境整備の経済評価の手引きH22.3」に基づき、評価を行った。

◆CVM（仮想市場法）の場合

⇒年便益＝1世帯当たりの1年間の支払意思額（WTP）×集計世帯数

◆TCM（トラベルコスト法）の場合

⇒整備前後の利用頻度、旅行費用の需要曲線を推定し、整備前後の需要曲線の差分を年便益（消費者余剰）として計測する。

# 4-2. 費用対効果分析

## (2) 調査範囲（便益集計範囲）の設定（CVM）

- ①-1 大竹地区（本町箇所）河川管理用通路、①-2. 和木地区 河川管理用通路
- ①-3. 大竹地区（元町箇所）河川管理用通路

⇒ 前回評価時（H23）の結果を用いた。  
（利用頻度が高い人の居住地域である事業箇所から5kmの世帯を対象）

## CVM（住民アンケートによる支払意思額の調査）

- ・郵送によるアンケートを実施。（平成26年8月にアンケートを実施）
- ・当事業を実施することによる効果を揭示し、多段階二項選択（8段階）を採用して整備を行うための支払意思額（WTP）を問う。
- ・得られた有効回答から、当事業の支払意思額（WTP）を求める。
- ・年便益は「WTP×12ヶ月×受益世帯数」により算定。

【これらの事業が実施されるために、あなたは毎月いくら支払っても良いと思いますか】

（回答記入欄）

負担金の金額	回答欄
1. 月に50円(年間600円)までならば、	①. 賛成する 2. 反対する
2. 月に100円(年間1,200円)までならば、	①. 賛成する 2. 反対する
3. 月に200円(年間2,400円)までならば、	①. 賛成する 2. 反対する
4. 月に300円(年間3,600円)までならば、	①. 賛成する 2. 反対する
5. 月に500円(年間6,000円)までならば、	①. 賛成する ②. 反対する
6. 月に1,000円(年間12,000円)までならば、	①. 賛成する ②. 反対する
7. 月に1,500円(年間18,000円)までならば、	①. 賛成する ②. 反対する
8. 月に2,000円(年間24,000円)までならば、	①. 賛成する ②. 反対する

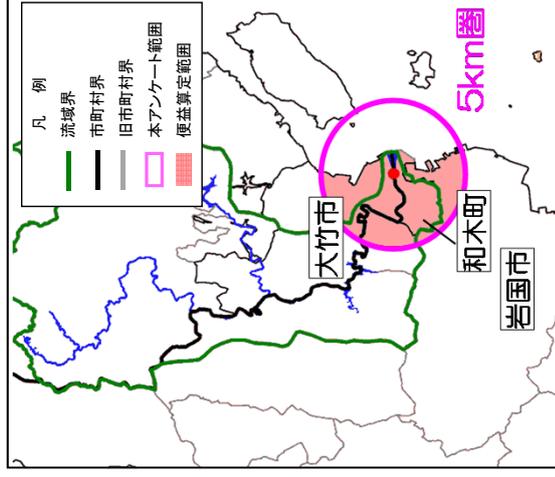
## (アンケート結果)

①-1 大竹地区（本町箇所）河川管理用通路、①-2 和木地区 河川管理用通路、①-3 大竹地区（元町箇所）河川管理用通路

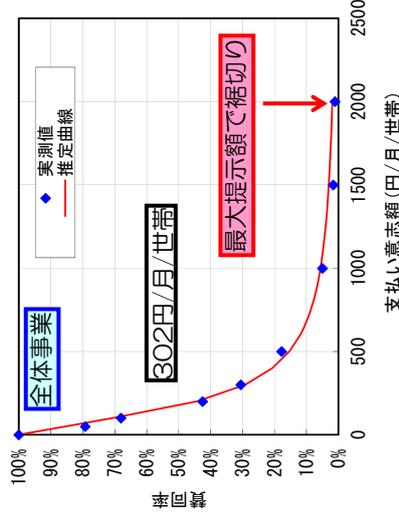
【全体事業】 支払意思額(WTP)=302円/月/世帯、【残事業】 支払意思額(WTP)=280円/月/世帯、受益世帯数 24,839世帯

## (年便益)

- 【全体事業】 90.0百万円/年 (=302円/月/世帯×12ヶ月×24,839世帯)
- 【残事業】 83.5百万円/年 (=280円/月/世帯×12ヶ月×24,839世帯)



## 【支払意思額（全体事業）】



## 【アンケート回収率・有効回答率】

大竹地区（本町箇所） 大竹地区（元町箇所） 和木地区	残事業	
	全体事業	残事業
配布数	2,200	2,200
回収数	712	712
回収率	32.4%	32.4%
有効回答数	384	380
有効回答率	53.9%	53.4%

## 4-2. 費用対効果分析

### (3) 調査範囲（受益集計範囲）の設定（TCM）

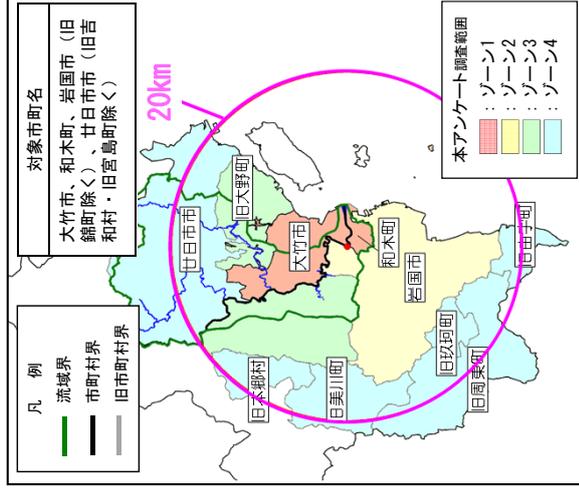
#### ② 小瀬地区環境整備

⇒ 前回評価時（H23）の結果を用いた。（利用者が確認されている3市1町を対象）

### TCM（住民アンケートによる利用頻度、旅行費用の調査）

- アンケート調査結果から利用者の来訪距離別にゾーンを設定。  
（平成23年9月にアンケートを実施）
- アンケート調査結果から各ゾーンごとに交通手段別の利用頻度、旅行費用（トラベルコスト）を算定。
- 整備前後の需要関数を求め、その差分を年便益（消費者余剰）とする。

アンケート結果・回収状況	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
【小瀬地区環境整備】	1,400	592	42.3%	549	92.7%

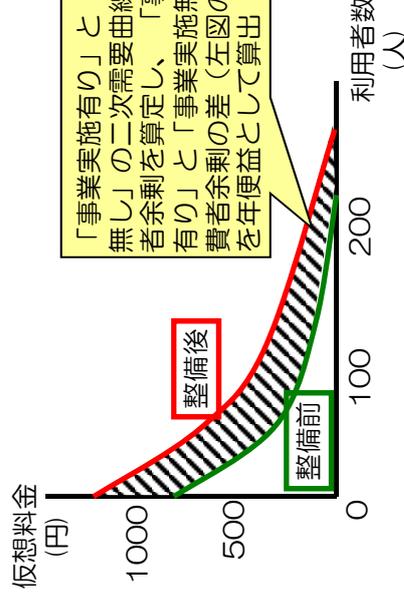


### 【各事業の整備前後の消費者余剰(単年度便益)を算定】

- ◆ 利用頻度とトラベルコストの関数曲線を用いて、ゾーンごとに仮想料金を設定し仮想料金ごとの利用者数を求め、各ゾーンの総和によって得られた値により需要曲線（需要関数）を推計

小瀬地区環境整備	ゾーン名	利用頻度(回/年)	旅行費用(円)	年便益(百万円)
整備前	1	40.17	117	395.4
	2	22.89	205	
	3	2.22	410	
	4	1.69	601	
整備後	1	46.10	117	451.8
	2	24.06	205	
	3	3.29	410	
	4	1.93	601	

【水辺整備】  
（再評価）  
年便益額 56百万円



### (4) 残存価値の設定

事業完成後50年経過時点での事業箇所での価値を算定。

### (5) 総便益の算定

事業完成後50年の年便益総和に残存価値を加え算定（社会的割引率（4%）を用い現在価値化した値）。

# 4-2. 費用対効果分析（再評価）

## (6) 費用便益比 (B/C) の算出方法

### 再評価【全体事業】

対象箇所：①-1. 大竹地区（本町箇所） 河川管理用通路、①-2. 和木地区 河川管理用通路  
 ①-3. 大竹地区（元町箇所） 河川管理用通路、②. 小瀬地区環境整備

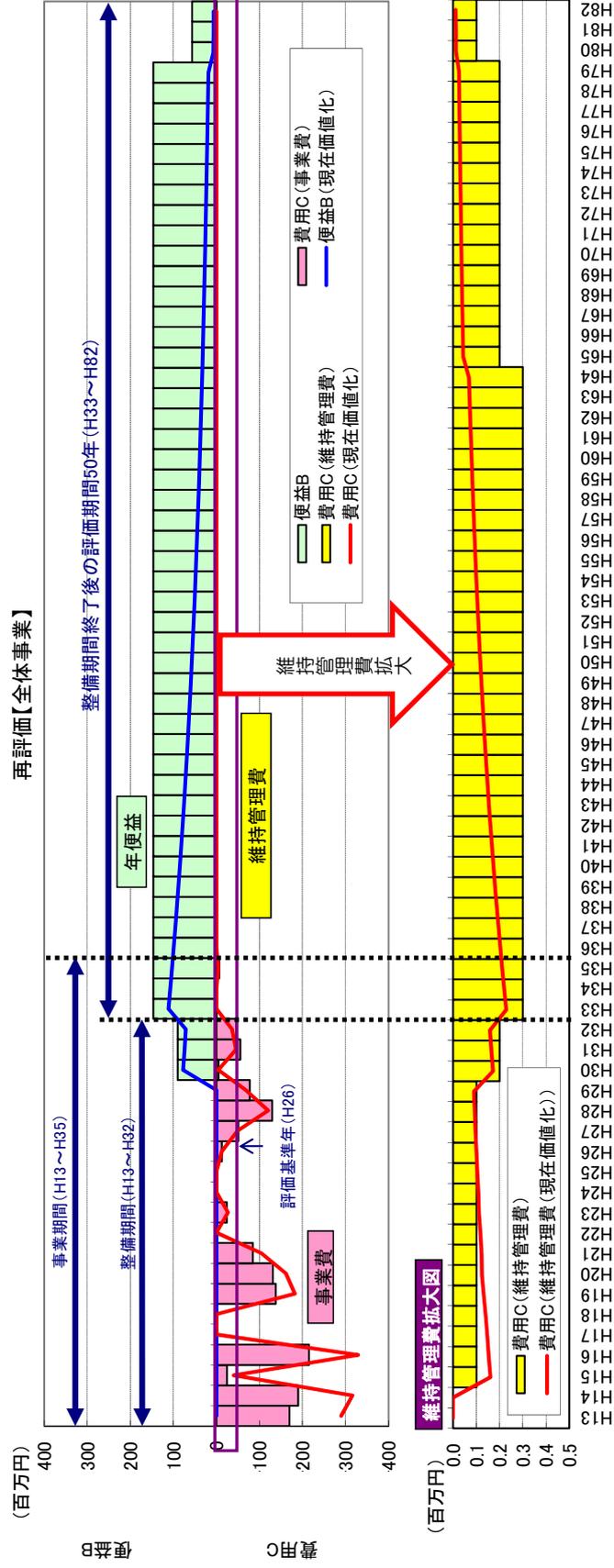
#### 【便益の整理】

- ・評価期間中に発現する便益を社会的割引率（4%）で割り引いた上で集計
- ・評価期間後に生じる残存価値を算定

#### 【費用の整理】

- ・既投資額についてはデフレ率及び社会的割引率（4%）で割り増しによって現在価値化し、今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率（4%）によって割り引いた上で集計

項目	全体事業
便益(B1)	2,677百万円
残存価値(B2)	11百万円
総便益(B=B1+B2)	2,688百万円
建設費(C1)	1,791百万円
維持管理費(C2)	7百万円
総費用(C=C1+C2)	1,798百万円
便益比(B/C)	1.5



# 4-2. 費用対効果分析（再評価）

## 再評価【残事業】

対象箇所：①-1. 大竹地区（本町箇所）河川管理用通路  
 ①-2. 和木地区 河川管理用通路  
 ②. 小瀬地区環境整備

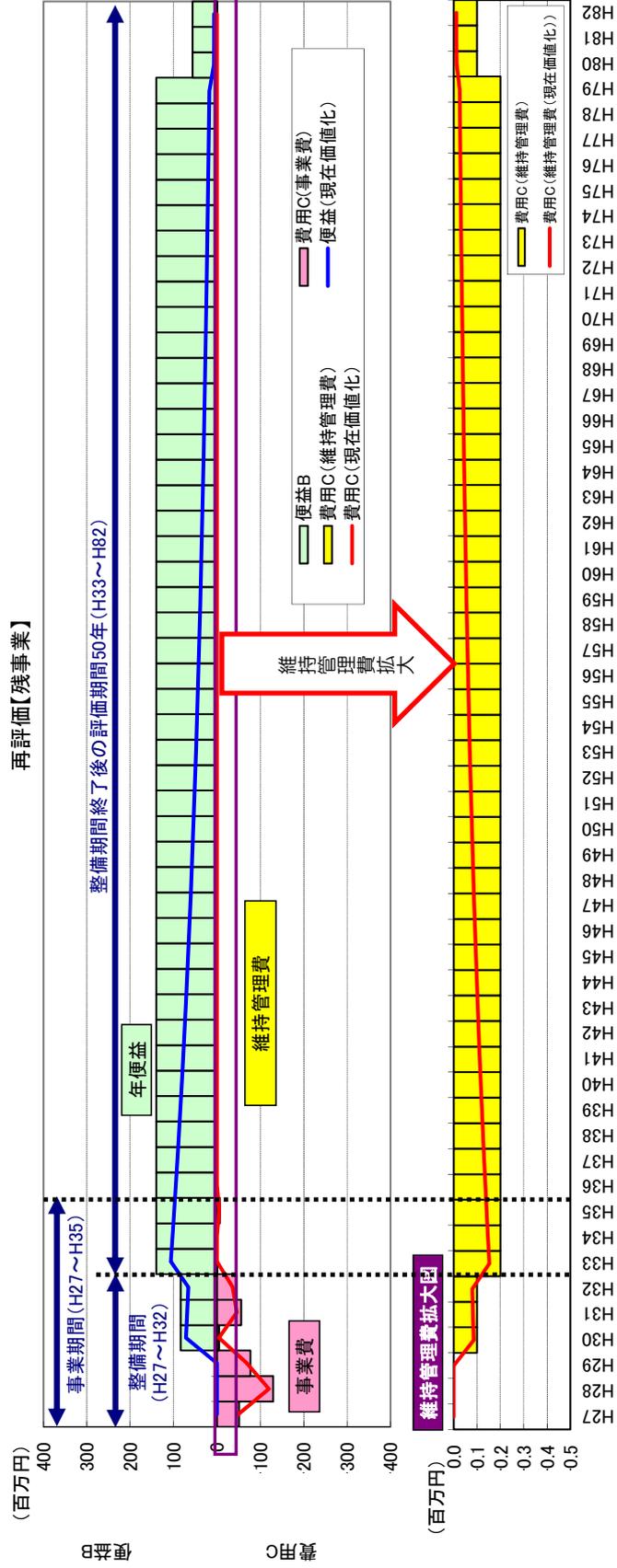
### 【便益の整理】

- ・評価期間中に発現する便益を社会的割引率（4％）で割り引いた上で集計
- ・評価期間後に生じる残存価値を算定

### 【費用の整理】

- ・今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率（4％）によって割り引いた上で集計

項目	残事業
便益(B1)	2,551百万円
残存価値(B2)	5百万円
総便益(B=B1+B2)	2,557百万円
建設費(C1)	329百万円
維持管理費(C2)	4百万円
総費用(C=C1+C2)	332百万円
便益比(B/C)	7.7



## 4-2. 費用対効果分析（再評価）

### （7）費用対効果分析結果（再評価）

評価期間を事業完成後50年間とし、現在価値を行った。

#### ◇総便益

- ・【水辺整備】 全体事業：2,688百万円 残事業：2,557百万円

(※) 総便益は、それぞれの年便益総和に、社会的割引率（4%）を用い現在価値化したものに残存価値を加えた値。

#### ◇総費用

- ・【水辺整備】 全体事業：1,798百万円 残事業：332百万円

(※) 総費用は、総事業費に50ヶ年の維持管理費を加え、社会的割引率（4%）を用い現在価値化した値。

(※) 維持管理費は、実績等を基に設定した。

#### ◇費用便益比（B/C）

- ・【水辺整備】 全体事業： 1.5 残事業： 7.7

## 4-3. 今後の対応方針（原案）

### （1）再評価の視点

#### ① 事業の必要性等の視点

##### 1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

- ・ 沿川の太竹市、岩国市、和木町の人口は、平成22年現在で合計約17.9万人であり、今後高齢化等により大きく減少するところが想定されている。
- ・ 整備箇所は散策等の健康増進の場、水に親しむ場として多くの住民に利用されており、より安全に水辺が利用できるような整備が望まれている。

##### 2）事業の投資効果

費用便益比（H26時点） 全体事業(B/C)=1.5 残事業(B/C)=7.7

##### 3）事業の進捗状況

- ・ 事業の進捗率は、72.8%（事業費ベース）である。（総事業費13.6億円のうち、整備済みは9.9億円）

### ② 事業の進捗の見込み

- ・ 予定事業について、関係機関や住民等の意見を取り入れながら実施することとしており、今後事業進捗する上で支障はない。

### ③ コスト縮減や代替案立案等の可能性

- ・ 水辺整備にあたっては、近隣の別工事で発生する土砂を盛土へ流用すること等によりコストの縮減を図る。
- ・ また、除草作業や清掃などは、地域住民との協力体制を確立することによりコストの縮減を図る。

### （2）県への意見照会結果

- ・ 広島県：異存はありません。【継続】
- ・ 山口県：異存なし。【継続】

### 【今後の対応方針（原案）】

- ・ 上記の各視点により、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、**継続実施が妥当**である。
- ・ 今後の事業実施にあたっては、地域と協力体制を確立するとともに、新技術・新工法等を活用し、コスト縮減に引き続き取り組み、効果的かつ効果的な事業の執行に努める。

# 【参考】費用便益総括表

金額単位：百万円

項目	再評価			
	全体事業		残事業	
		水辺整備		水辺整備
費用 (C)	1,798	1,798	332	332
建設費	1,791	1,791	329	329
維持管理費	7	7	4	4
便益 (B)	2,688	2,688	2,557	2,557
便益	2,677	2,677	2,551	2,551
残存価値	11	11	5	5
費用便益比 (B/C)	1.5	1.5	7.7	7.7

※総費用は、総事業費に50カ年の維持管理費を加え、社会的割引率（4%）を用い現在価値化した値。

※維持管理費は、実績等を基に設定した。

※総便益は、それぞれの年便益総和に、社会的割引率（4%）を用い現在価値化したものに残存価値を加えた値。

# 【参考】前回評価時との比較

	前回評価 (H23再評価)	今回評価 (H26再評価)
事業緒元 及び 事業期間	<p>【水辺整備】</p> <p>①-1 大竹地区（本町箇所）（H19～（実施中）） ：河川管理用通路・階段、坂路</p> <p>①-2 和木地区（H14～（実施中）） ：護岸、河川管理用階段、坂路</p> <p>①-3 大竹地区（元町箇所）（H13～14） ：河川管理用通路・階段、坂路</p> <p>② 小瀬地区（計画） ：護岸、河川管理用階段、坂路</p>	<p>【水辺整備】</p> <p>①-1 大竹地区（本町箇所）（H19～（実施中）） ：河川管理用通路・階段、坂路</p> <p>①-2 和木地区（H14～（実施中）） ：護岸、河川管理用階段、坂路</p> <p>①-3 大竹地区（元町箇所）（H13～14） ：河川管理用通路・階段、坂路</p> <p>② 小瀬地区（計画） ：護岸、河川管理用階段、坂路</p>
総事業費 (百万円)	1,344	1,362
総費用(C) (百万円)	1,628	1,798
総便益(B) (百万円)	2,670	2,688
費用便益比(B/C)	1.6	1.5

## 【参考】感度分析（再評価）

- ・参考として、残事業費、残工期、便益を個別に±10%変動させて、費用便益比(B/C)を算定し、感度分析を行った。

<B/C算定ケース(基本2ケース、感度分析12ケース)>

	基本	残事業費		残工期		便益	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
全体事業費用 便益比(B/C)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.3
残事業費用 便益比(B/C)	7.7	7.0	8.4	7.7	7.7	8.5	6.9

(再評価)

## 小瀬川総合水系環境整備事業

[費用便益比 (B/C) 算定等資料]

## 【概要】

水系・河川名	小瀬川水系
事業名	小瀬川総合水系環境整備事業
事業主体	太田川河川事務所
関係自治体	廿日市市、大竹市、岩国市、和木町
事業期間	2001年度～2023年度（平成13年度～平成35年度）
基準（評価年度）	2014年度（平成26年度）

## 【費用】

	建設費	維持管理費	合計
単純合計（実質価格）	1,362百万円	15百万円	1,377百万円
基準年における現在 価値合計（C）	1,791百万円	7百万円	1,798百万円

## 【便益】

	便益
供用年度	平成33年度
供用年度の単年度便 益（実質価格）	146.4百万円
残存価値	11百万円
基準年における現在 価値合計（B）	2,688百万円

## 【費用便益分析結果】

費用便益比（C B R）	1.5
純現在価値（N P V）	890百万円
経済的內部収益率 （E I R R）	5.5%

(様式-2)

## 水系全体 全事業

(単位：百万円)

年度	t	平成	デフレ率	割引率	便益:B					費用:C									
					便益①			残存価値②		計①+②	建設費③			維持管理費④			計③+④		
					便益	実買価格	現在価値	実買価格	現在価値		費用	実買価格	現在価値	費用	実買価格	現在価値	費用	実買価格	現在価値
-13	H13	1.025	1.665							170.0	174.3	290.1				170.0	174.3	290.1	
-12	H14	1.039	1.601							190.0	197.4	316.1				190.0	197.4	316.1	
-11	H15	1.039	1.539							25.0	26.0	40.0	0.1	0.1	0.2	25.1	26.1	40.1	
-10	H16	1.035	1.480							215.0	222.5	329.3	0.1	0.1	0.2	215.1	222.6	329.5	
-9	H17	1.030	1.423										0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
-8	H18	1.019	1.369										0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
-7	H19	1.003	1.316							138.0	138.4	182.2	0.1	0.1	0.1	138.1	138.5	182.3	
-6	H20	0.974	1.265							131.0	127.6	161.4	0.1	0.1	0.1	131.1	127.7	161.5	
-5	H21	1.005	1.217							84.8	85.3	103.8	0.1	0.1	0.1	84.9	85.4	103.9	
-4	H22	1.004	1.170										0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
-3	H23	0.991	1.125							24.0	23.8	26.8	0.1	0.1	0.1	24.1	23.9	26.9	
-2	H24	1.000	1.082										0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
-1	H25	1.000	1.040										0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
0	H26	1.000	1.000							12.7	12.7	12.7	0.1	0.1	0.1	12.8	12.8	12.8	
1	H27	1.000	0.962							51.0	51.0	49.1	0.1	0.1	0.1	51.1	51.1	49.2	
2	H28	1.000	0.925							129.8	129.8	120.1	0.1	0.1	0.1	129.9	129.9	120.2	
3	H29	1.000	0.889							77.3	77.3	68.7	0.1	0.1	0.1	77.4	77.4	68.8	
4	H30	1.000	0.855	90.0	90.0	77.0			77.0	5.0	5.0	4.3	0.2	0.2	0.2	5.2	5.2	4.4	
5	H31	1.000	0.822	90.0	90.0	74.0			74.0	55.7	55.7	45.8	0.2	0.2	0.2	55.9	55.9	45.9	
6	H32	1.000	0.790	90.0	90.0	71.1			71.1	45.9	45.9	36.3	0.2	0.2	0.2	46.1	46.1	36.4	
7	H33	1.000	0.760	146.4	146.4	111.3			111.3				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
8	H34	1.000	0.731	146.4	146.4	107.0			107.0				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
9	H35	1.000	0.703	146.4	146.4	102.9			102.9	6.6	6.6	4.6	0.3	0.3	0.2	6.9	6.9	4.9	
10	H36	1.000	0.676	146.4	146.4	99.0			99.0				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
11	H37	1.000	0.650	146.4	146.4	95.2			95.2				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
12	H38	1.000	0.625	146.4	146.4	91.5			91.5				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
13	H39	1.000	0.601	146.4	146.4	88.0			88.0				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
14	H40	1.000	0.577	146.4	146.4	84.5			84.5				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
15	H41	1.000	0.555	146.4	146.4	81.3			81.3				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
16	H42	1.000	0.534	146.4	146.4	78.2			78.2				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
17	H43	1.000	0.513	146.4	146.4	75.1			75.1				0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	
18	H44	1.000	0.494	146.4	146.4	72.3			72.3				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
19	H45	1.000	0.475	146.4	146.4	69.5			69.5				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
20	H46	1.000	0.456	146.4	146.4	66.8			66.8				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
21	H47	1.000	0.439	146.4	146.4	64.3			64.3				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
22	H48	1.000	0.422	146.4	146.4	61.8			61.8				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
23	H49	1.000	0.406	146.4	146.4	59.4			59.4				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
24	H50	1.000	0.390	146.4	146.4	57.1			57.1				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
25	H51	1.000	0.375	146.4	146.4	54.9			54.9				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
26	H52	1.000	0.361	146.4	146.4	52.9			52.9				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
27	H53	1.000	0.347	146.4	146.4	50.8			50.8				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
28	H54	1.000	0.333	146.4	146.4	48.8			48.8				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
29	H55	1.000	0.321	146.4	146.4	47.0			47.0				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
30	H56	1.000	0.308	146.4	146.4	45.1			45.1				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
31	H57	1.000	0.296	146.4	146.4	43.3			43.3				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
32	H58	1.000	0.285	146.4	146.4	41.7			41.7				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
33	H59	1.000	0.274	146.4	146.4	40.1			40.1				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
34	H60	1.000	0.264	146.4	146.4	38.7			38.7				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
35	H61	1.000	0.253	146.4	146.4	37.0			37.0				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
36	H62	1.000	0.244	146.4	146.4	35.7			35.7				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
37	H63	1.000	0.234	146.4	146.4	34.3			34.3				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
38	H64	1.000	0.225	146.4	146.4	32.9			32.9				0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.1	
39	H65	1.000	0.217	146.4	146.4	31.8			31.8				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
40	H66	1.000	0.208	146.4	146.4	30.5			30.5				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
41	H67	1.000	0.200	146.4	146.4	29.3			29.3				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
42	H68	1.000	0.193	146.4	146.4	28.3			28.3				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
43	H69	1.000	0.185	146.4	146.4	27.1			27.1				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
44	H70	1.000	0.178	146.4	146.4	26.1			26.1				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
45	H71	1.000	0.171	146.4	146.4	25.0			25.0				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
46	H72	1.000	0.165	146.4	146.4	24.2			24.2				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
47	H73	1.000	0.158	146.4	146.4	23.1			23.1				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
48	H74	1.000	0.152	146.4	146.4	22.3			22.3				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
49	H75	1.000	0.146	146.4	146.4	21.4			21.4				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
50	H76	1.000	0.141	146.4	146.4	20.6			20.6				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
51	H77	1.000	0.135	146.4	146.4	19.8			19.8				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
52	H78	1.000	0.130	146.4	146.4	19.0			19.0				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
53	H79	1.000	0.125	146.4	146.4	18.3	120.3	9.0	27.3				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
54	H80	1.000	0.120	56.4	56.4	6.8			6.8				0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	
55	H81	1.000	0.116	56.4	56.4	6.5			6.5				0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	
56	H82	1.000	0.111	56.4	56.4	6.3	15.0	2.0	8.2				0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	
合計					7.321	7.321	2,677		11	2,688	1,362	1,379	1,791	15	15	7	1,377	1,394	1,798

費用便益比		
総便益(億円)	B	26.88
総費用(億円)	C	17.98
費用便益比	B/C	1.5
純現在価値(億円)	B-C	8.90
経済的内部収益率		5.5%

(様式-2)

## 水系全体 残事業

(単位：百万円)

年度	テラフレタ		割引率	便益:B					費用:C										
				便益①			残存価値②		計①+②	建設費③			維持管理費④			計③+④			
				便益	実買価格	現在価値	実買価格	現在価値		費用	実買価格	現在価値	費用	実買価格	現在価値	費用	実買価格	現在価値	
-13	H13	1.025	1.665																
-12	H14	1.039	1.601																
-11	H15	1.039	1.539																
-10	H16	1.035	1.480																
-9	H17	1.030	1.423																
-8	H18	1.019	1.369																
-7	H19	1.003	1.316																
-6	H20	0.974	1.265																
-5	H21	1.005	1.217																
-4	H22	1.004	1.170																
-3	H23	0.991	1.125																
-2	H24	1.000	1.082																
-1	H25	1.000	1.040																
0	H26	1.000	1.000																
1	H27	1.000	0.962							51.0	51.0	49.1				51.0	51.0	49.1	
2	H28	1.000	0.925							129.8	129.8	120.1				129.8	129.8	120.1	
3	H29	1.000	0.889							77.3	77.3	68.7				77.3	77.3	68.7	
4	H30	1.000	0.855	83.5	83.5	71.4			71.4	5.0	5.0	4.3	0.1	0.1	0.1	5.1	5.1	4.4	
5	H31	1.000	0.822	83.5	83.5	68.6			68.6	55.7	55.7	45.8	0.1	0.1	0.1	55.8	55.8	45.9	
6	H32	1.000	0.790	83.5	83.5	65.9			65.9	45.9	45.9	36.3	0.1	0.1	0.1	46.0	46.0	36.3	
7	H33	1.000	0.760	139.9	139.9	106.3			106.3				0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
8	H34	1.000	0.731	139.9	139.9	102.2			102.2				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
9	H35	1.000	0.703	139.9	139.9	98.3			98.3	6.6	6.6	4.6	0.2	0.2	0.1	6.8	6.8	4.8	
10	H36	1.000	0.676	139.9	139.9	94.5			94.5				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
11	H37	1.000	0.650	139.9	139.9	90.9			90.9				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
12	H38	1.000	0.625	139.9	139.9	87.4			87.4				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
13	H39	1.000	0.601	139.9	139.9	84.1			84.1				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
14	H40	1.000	0.577	139.9	139.9	80.7			80.7				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
15	H41	1.000	0.555	139.9	139.9	77.6			77.6				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
16	H42	1.000	0.534	139.9	139.9	74.7			74.7				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
17	H43	1.000	0.513	139.9	139.9	71.7			71.7				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
18	H44	1.000	0.494	139.9	139.9	69.1			69.1				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
19	H45	1.000	0.475	139.9	139.9	66.4			66.4				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
20	H46	1.000	0.456	139.9	139.9	63.8			63.8				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
21	H47	1.000	0.439	139.9	139.9	61.4			61.4				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
22	H48	1.000	0.422	139.9	139.9	59.0			59.0				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
23	H49	1.000	0.406	139.9	139.9	56.8			56.8				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
24	H50	1.000	0.390	139.9	139.9	54.5			54.5				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
25	H51	1.000	0.375	139.9	139.9	52.4			52.4				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
26	H52	1.000	0.361	139.9	139.9	50.5			50.5				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
27	H53	1.000	0.347	139.9	139.9	48.5			48.5				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
28	H54	1.000	0.333	139.9	139.9	46.6			46.6				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
29	H55	1.000	0.321	139.9	139.9	44.9			44.9				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
30	H56	1.000	0.308	139.9	139.9	43.1			43.1				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
31	H57	1.000	0.296	139.9	139.9	41.4			41.4				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
32	H58	1.000	0.285	139.9	139.9	39.9			39.9				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
33	H59	1.000	0.274	139.9	139.9	38.3			38.3				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
34	H60	1.000	0.264	139.9	139.9	36.9			36.9				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
35	H61	1.000	0.253	139.9	139.9	35.4			35.4				0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	
36	H62	1.000	0.244	139.9	139.9	34.1			34.1				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
37	H63	1.000	0.234	139.9	139.9	32.7			32.7				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
38	H64	1.000	0.225	139.9	139.9	31.5			31.5				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
39	H65	1.000	0.217	139.9	139.9	30.3			30.3				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
40	H66	1.000	0.208	139.9	139.9	29.1			29.1				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
41	H67	1.000	0.200	139.9	139.9	28.0			28.0				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
42	H68	1.000	0.193	139.9	139.9	27.0			27.0				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
43	H69	1.000	0.185	139.9	139.9	25.9			25.9				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
44	H70	1.000	0.178	139.9	139.9	24.9			24.9				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
45	H71	1.000	0.171	139.9	139.9	23.9			23.9				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
46	H72	1.000	0.165	139.9	139.9	23.1			23.1				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
47	H73	1.000	0.158	139.9	139.9	22.1			22.1				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
48	H74	1.000	0.152	139.9	139.9	21.3			21.3				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
49	H75	1.000	0.146	139.9	139.9	20.4			20.4				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
50	H76	1.000	0.141	139.9	139.9	19.7			19.7				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
51	H77	1.000	0.135	139.9	139.9	18.9			18.9				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
52	H78	1.000	0.130	139.9	139.9	18.2			18.2				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
53	H79	1.000	0.125	139.9	139.9	17.5	26.6	3.5	20.9				0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	0.0	
54	H80	1.000	0.120	56.4	56.4	6.8			6.8				0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	
55	H81	1.000	0.116	56.4	56.4	6.5			6.5				0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	
56	H82	1.000	0.111	56.4	56.4	6.3	15.0	2.0	8.2				0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	
合計					6,993	6,993	2,551		5	2,557	371	371	329	10	10	4	381	381	332

費用便益比		
総便益(億円)	B	25.57
総費用(億円)	C	3.32
費用便益比	B/C	7.7
純現在価値(億円)	B-C	22.24
経済的内部収益率		28.3%

## 【算出説明書】

事業概要	
事業目的	<p>小瀬川は、広島県と山口県の県境に位置し、その源を中国山地の鬼ヶ城山に発し、広島・山口県の県境を南流し、山口県岩国市美和町釜ヶ原と広島県大竹市栗谷町沖ノ窪の県境で玖島川を合わせ南下し、蛇行しながら東方に流れを転じ、山口県玖珂郡和木町と広島県大竹市の工業地帯を経て、瀬戸内海に注いでいる。</p> <p>小瀬川では、コンビナートが形成されている河口部を除き、現在でも豊かな自然や、昔から続く左右岸異なる文化が存在しているほか、子ども達の健やかな成長を祈る独特の風習である「ひな流し」も今なお続いている。</p> <p>(水辺整備) 《大竹地区(本町・元町箇所)、和木地区河川管理用通路》 事業箇所周辺の川沿いは、散歩やジョギング等、地域住民の交流や健康づくりの場として利用されている。しかし、川沿いには交通量の多い堤防沿いの道路のほかに歩行空間がないため、危険と隣り合わせの状況になっている。そのため、川沿いを安全に移動することができる河川管理用通路などを整備する。</p> <p>《小瀬地区環境整備》 小瀬地区は、山陽道を下って安芸(広島県)から周防(山口県)に入る関所に位置し、「小瀬川の渡し場」や「吉田松陰の歌碑」などの文化財を含め、数多くの利用がある。数多くの利用がある。また、対岸には「中津原水辺の楽校」が整備されている。しかし、水辺に降りる河川管理用階段がなく、水辺では雑草や雑木が繁茂するなど、安全に水辺を利用することができず、対岸の「中津原水辺の楽校」との連携も図られていない。そのため、安全に水辺に近づくことができる河川管理用階段や坂路などを整備する。</p>
事業内容 (事業箇所図)	<p>(水辺整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大竹地区(本町箇所)河川管理用通路 [H19～(実施中)] 河川管理用通路、河川管理用階段、坂路</li> <li>・和木地区河川管理用通路 [H14～(実施中)] 河川管理用通路、河川管理用階段、坂路</li> <li>・大竹地区(元町箇所)河川管理用通路 [H13～H14年度] 護岸、河川管理用階段、坂路</li> <li>・小瀬地区環境整備 [計画] 護岸、河川管理用階段、坂路</li> </ul>  <p>緑字：計画 赤字：実施中 黒字：完成</p>

## 【算出説明書】

費用便益比の算定根拠																		
便益	評価手法	<p>大竹地区（本町・元町箇所）河川管理用通路, 和木地区河川管理用通路は、利用価値の他に、地域の水辺への愛着の向上等の非利用価値の向上も見込まれることから CVM（仮想市場評価法）を用いて評価を行った。（平成 26 年 8 月にアンケート実施）</p> <p>小瀬地区環境整備は主な便益が水辺整備による利用価値の向上であることから TCM（トラベルコスト法）を用いて評価を行った。（平成 23 年 9 月にアンケート実施）</p>																
	便益計測期間	H30～H82（単独事業の効果発現時から全事業完了後 50 年）																
	総便益	<p>○年便益額＝ 146 百万円</p> <p>○残存価値＝ 11 百万円</p> <p>総便益 B=Σ 単年度便益額/(1+0.04)<sup>n</sup>+残存価値=2,688 百万円</p>																
	評価範囲 (評価対象範囲図)	<p>○便益集計範囲：プレテストの結果を踏まえて設定。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">箇所名</th> <th style="width: 15%;">便益帰着範囲</th> <th style="width: 20%;">便益帰着範囲の設定根拠</th> <th style="width: 25%;">便益集計範囲の市町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大竹地区（本町箇所）河川管理用通路 和木地区河川管理用通路 大竹地区（元町箇所）河川管理用通路</td> <td>5km 圏内</td> <td>・事業箇所の利用頻度が高い人の居住地域。</td> <td>大竹市 和木町 岩国市（旧岩国市）</td> </tr> <tr> <td>小瀬地区環境整備</td> <td>概ね 20km 圏</td> <td>・整備前、整備後の利用者の居住範囲を含む地域。</td> <td>大竹市 和木町 岩国市（旧錦町除く） 廿日市市（旧吉和村・旧宮島町除く）</td> </tr> </tbody> </table>			箇所名	便益帰着範囲	便益帰着範囲の設定根拠	便益集計範囲の市町	大竹地区（本町箇所）河川管理用通路 和木地区河川管理用通路 大竹地区（元町箇所）河川管理用通路	5km 圏内	・事業箇所の利用頻度が高い人の居住地域。	大竹市 和木町 岩国市（旧岩国市）	小瀬地区環境整備	概ね 20km 圏	・整備前、整備後の利用者の居住範囲を含む地域。	大竹市 和木町 岩国市（旧錦町除く） 廿日市市（旧吉和村・旧宮島町除く）		
	箇所名	便益帰着範囲	便益帰着範囲の設定根拠	便益集計範囲の市町														
大竹地区（本町箇所）河川管理用通路 和木地区河川管理用通路 大竹地区（元町箇所）河川管理用通路	5km 圏内	・事業箇所の利用頻度が高い人の居住地域。	大竹市 和木町 岩国市（旧岩国市）															
小瀬地区環境整備	概ね 20km 圏	・整備前、整備後の利用者の居住範囲を含む地域。	大竹市 和木町 岩国市（旧錦町除く） 廿日市市（旧吉和村・旧宮島町除く）															
	<p>○アンケートの概要：</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">箇所名〔評価方法〕</th> <th style="width: 10%;">配布・回収方法</th> <th style="width: 15%;">便益集計範囲人口・配布数</th> <th style="width: 10%;">回収数回収率</th> <th style="width: 25%;">有効回答数有効回答率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大竹地区（本町箇所）河川管理用通路 和木地区河川管理用通路 大竹地区（元町箇所）河川管理用通路〔CVM〕</td> <td>郵送</td> <td>24,839 世帯 2,200 通</td> <td>712 票 32.4%</td> <td>384 票 53.9%</td> </tr> <tr> <td>小瀬地区環境整備〔TCM〕</td> <td>郵送</td> <td>294,800 人 1,400 通</td> <td>592 票 42.3%</td> <td>549 票 92.7%</td> </tr> </tbody> </table>			箇所名〔評価方法〕	配布・回収方法	便益集計範囲人口・配布数	回収数回収率	有効回答数有効回答率	大竹地区（本町箇所）河川管理用通路 和木地区河川管理用通路 大竹地区（元町箇所）河川管理用通路〔CVM〕	郵送	24,839 世帯 2,200 通	712 票 32.4%	384 票 53.9%	小瀬地区環境整備〔TCM〕	郵送	294,800 人 1,400 通	592 票 42.3%	549 票 92.7%
箇所名〔評価方法〕	配布・回収方法	便益集計範囲人口・配布数	回収数回収率	有効回答数有効回答率														
大竹地区（本町箇所）河川管理用通路 和木地区河川管理用通路 大竹地区（元町箇所）河川管理用通路〔CVM〕	郵送	24,839 世帯 2,200 通	712 票 32.4%	384 票 53.9%														
小瀬地区環境整備〔TCM〕	郵送	294,800 人 1,400 通	592 票 42.3%	549 票 92.7%														

便益	評価範囲 (評価対象範囲図)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: red; margin: 0;">大竹地区(本町箇所)河川管理用通路 和木地区河川管理用通路 大竹地区(元町箇所)河川管理用通路</p> </div> <p style="font-size: small;">対象市町村 対象外市町村 網掛け：便益集計範囲</p>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: green; margin: 0;">小瀬地区環境整備</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content; float: right;"> <p style="font-size: x-small; margin: 0;">対象市町名 大竹市、和木町、岩国市(旧錦町除く)、廿日市市(旧吉和村・旧宮島町除く)</p> </div> <p style="font-size: small;">対象市町村 対象外市町村 網掛け：便益集計範囲</p>	
	費用	建設費	1,791 百万円
		維持管理費	7 百万円
	総費用	1,798 百万円	
	費用便益比 (B/C)	1.5	
	その他留意点等		

## 事業費の内訳書

## 河川環境整備事業

事業名	小瀬川総合水系環境整備事業 (全体事業費)
-----	-----------------------

評価年度	H26	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費(水辺整備)	本工事費		式	1	1,055	
			式	1	1,055	
		盛土工	m <sup>3</sup>	6,300	26	
		護岸	m	2,005	192	
		高水敷整正	m <sup>2</sup>	4,990	9	
		管理用通路	m	2,231	195	
		管理用階段	箇所	27	29	
		根固工	m <sup>2</sup>	13,082	406	
		排水工	箇所	75	12	
				式		186
間接経費等(水辺整備)		式	1	307		
事業費(水辺整備)		式	1	1,361		
維持管理費(水辺整備)		式	1	15		

## 事業費の内訳書

## 河川環境整備事業

事業名	小瀬川総合水系環境整備事業 (残事業費)
-----	----------------------

評価年度	H26	再評価
------	-----	-----

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
工事費(水辺整備)	本工事費		式	1	294	
			式	1	294	
		盛土工	m <sup>3</sup>	1,100	6	
		護岸	m	645	46	
		高水敷整正	m <sup>2</sup>	4,990	9	
		管理用通路	m	560	61	
		管理用階段	箇所	7	10	
		根固工	m <sup>2</sup>	3,082	98	
		排水工	箇所	15	2	
	その他	式	1	61	仮設工等	
間接経費等(水辺整備)		式	1	77		
事業費(水辺整備)		式	1	371		
維持管理費(水辺整備)		式	1	10		

「小瀬川（大竹地区・和木地区）における水辺整備」に  
関するアンケートにご協力をお願いします。

平成 26 年 7 月

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

謹啓

時下、皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

このたび、太田川河川事務所では「小瀬川（大竹地区・和木地区）における水辺整備」について、その効果を評価するためのアンケート調査を実施することとなりました。この整備は別紙の「事業説明資料」のとおり、中市堰から栄橋（国道 2 号）まで管理用通路を整備するものです。

管理用通路は、河川の堤防の点検や管理を行うものですが、歩行者が行き来できる通路が整備されるため、川沿いの交通量の多い道路を通行することなく、安全に移動できるようになります。ただし、河川が増水した場合は、通行できなくなります。

なお、このアンケートは、小瀬川周辺にお住まいの方から電話帳より無作為に選ばせていただきました。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、本アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

謹白

■ご記入にあたって

- このアンケートは、世帯の中で収入を得ておられる方、またはそれに準じる方（主にその配偶者）がお答えください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、**8月11日（月）まで**にお近くの郵便ポストにご投函下さいますようお願いいたします。

■アンケートについての問い合わせ

このアンケート調査は、国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所が実施しています。アンケート内容についてご不明な点等がございましたら、下記にお問い合わせください。

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所 計画課 担当者：井本 いちと  
電話：082-222-9246 FAX：082-222-2432

## 「小瀬川(大竹地区・和木地区)における水辺整備」について

※別紙の【事業説明資料】をご覧ください、下記の質問にご回答下さい。

問1 あなたは、これまで中市堰から栄橋（国道2号）までは、安全に通行することができなかったことをご存じでしたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった

問2 管理用通路を整備すると、中市堰から栄橋（国道2号）の水辺を安全に移動できるようになります。この整備が必要だと思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。

1. 必要だと思う
2. 必要ではないと思う

ここからは、仮定の質問です。説明文をよくお読みになったうえでお答え下さい。

実際には、このような事業は税金によって実施していますが、ここでは事業の効果を金額に置きかえて評価するために、仮に事業の実施が税金で行われるのではなく、事業の実施に必要な金額を各世帯から「負担金」という形で分担して支払うような仕組みがあったとしたら、という場合を想像してお答えください。

現在、小瀬川下流部の河川管理用通路の整備は、中市堰から小瀬川橋梁付近まで整備を行い、小瀬川橋梁から栄橋(国道2号)の河川管理用通路の整備を進めているところです。これから次の2つのケースについて質問に答えていただきます。同じような質問が続きますが、それぞれについてお答え下さい。

**ケースⅠ：未整備区間（小瀬川橋梁～栄橋）を整備した場合**

- ・ 事業説明資料で示した現在整備中の区間（小瀬川橋梁～栄橋）の整備を行う場合

**ケースⅡ：すべての区間（中市堰～栄橋）を整備した場合**

- ・ 事業説明資料で示した現在整備済の区間（中市堰～小瀬川橋梁）が未整備だったと仮定し、この状態からすべての区間（中市堰～栄橋）の整備を行う場合



ケースⅠ：整備中の区間（小瀬川橋梁～栄橋）を整備した場合  
（下図の赤着色部分）

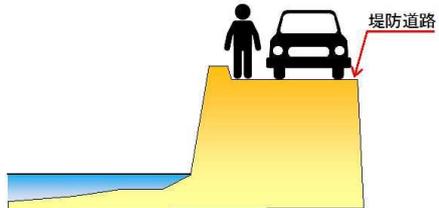
■ケースⅠ  
現在整備中の「小瀬川橋梁～栄橋（■区間）」の整備を行う場合



【状況 A】  
**現状**

「小瀬川橋梁～栄橋」が整備されていない場合

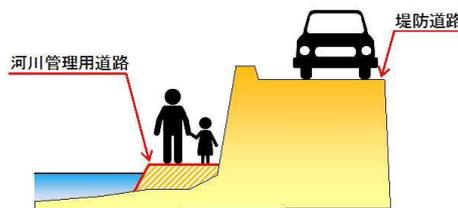
- JR小瀬川橋梁付近から栄橋（国道2号）までは、車が多く歩道もない堤防道路を利用するため、安全に通行できません
- この間は水辺に近づくことができません。
- あなたの世帯の負担金はありません。



【状況 B】  
**整備後**

「中市堰～栄橋」の整備を行う場合

- JR小瀬川橋梁付近から栄橋（国道2号）までの整備を行います。
- この間は河川管理用通路を利用することにより、川沿いを安全に移動できるようになります。
- 水辺にも近づくことができるようになります。
- あなたの世帯から負担金が必要です。



**補足事項** アンケートによる金額（問3、問4、問5）は、事業の効果を評価するための仮定であり、実際にこのような仕組みが考えられているものではありません。

問3 【状況A】(現状)から【状況B】(整備後)を実現するための負担金が毎月いくらまでならば事業に賛成されますか。実際に負担するつもりになって、お答えください。

なお、負担金はこの地域にお住いの間、支払い続けていただくことになることを、十分念頭においてお答えください。また、負担金はこの事業の実施と維持のためにのみ使われ、他の目的にはいっさい使われないこととします。

※下記の金額は、1世帯あたりの支払い金額です。

(回答例のように、少ない金額から順に、一つずつ選択してください。)

(回答記入欄)

負担金の金額	回答欄	
1. 月に50円(年間600円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
2. 月に100円(年間1,200円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
3. 月に200円(年間2,400円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
4. 月に300円(年間3,600円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
5. 月に500円(年間6,000円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
6. 月に1,000円(年間12,000円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
7. 月に1,500円(年間18,000円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
8. 月に2,000円(年間24,000円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する

(回答例)

回答欄	
① 賛成する	2. 反対する
1. 賛成する	② 反対する
1. 賛成する	② 反対する
1. 賛成する	② 反対する
1. 賛成する	② 反対する

問4 **問3で全てに反対、すなわち、「毎月50円」でも支払わない、とお答えになった方にお伺いします。**

その理由は何ですか。あてはまる番号を1つ〇で囲んで下さい。

その他の場合、( )の中に具体的にお書き下さい。

- 1) 事業が行なわれる方がよいと思うが、毎月50円(年間あたり600円)も支払う価値はないと思うから
- 2) たとえ支払いがなくても、この事業を行なわない方がよいと思うから
- 3) 国や自治体が税金を使って実施すべきだと思うから
- 4) 世帯から負担金を集めるという仕組みに反対だから
- 5) これだけの情報では判断できない
- 6) その他 ( )

問5 **問3で一つでも賛成、すなわち、負担金が発生してもよい、とお答えになった方にお伺いします。**

その理由は何ですか。あてはまる番号を1つ〇で囲んで下さい。

その他の場合、( )の中に具体的にお書き下さい。

- 1) 河川利用の安全性が向上するのはよいことだと思うから
- 2) 小瀬川沿いを連続して通れるようになると便利だから
- 3) 洪水の心配がなくなるから
- 4) 自分や家族にとっては価値はないが、他の世帯も支払うのであれば仕方がないから
- 5) その他 ( )

ケースⅡ：すべての区間（中市堰～栄橋）を整備した場合  
（下図の赤着色部分）

■ケースⅡ  
すべての整備区間である「中市堰～栄橋（■区間）」  
の整備を行う場合

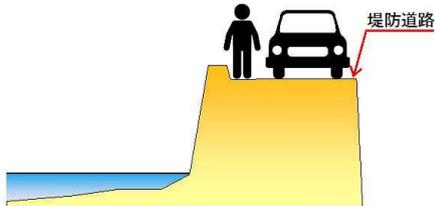


【状況 A】

現状

「小瀬川橋梁～栄橋」が整備されていない場合

- JR小瀬川橋梁付近から栄橋（国道2号）までは、車が多く歩道もない堤防道路を利用するため、安全に通行できません
- この間は水辺に近づくことができません。
- あなたの世帯の負担金はありません。



現状（整備前の状況）

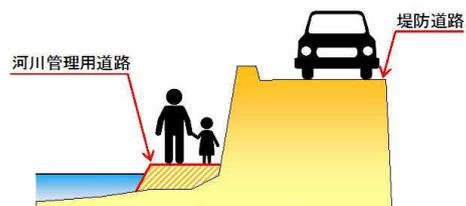


【状況 B】

整備後

「中市堰～栄橋」の整備を行う場合

- JR小瀬川橋梁付近から栄橋（国道2号）までの整備を行います。
- この間は河川管理用通路を利用することにより、川沿いを安全に移動できるようになります。
- 水辺にも近づくことができるようになります。
- あなたの世帯から負担金が必要です。



整備後の状況（大竹地区）



補足事項

アンケートによる金額（問6、問7、問8）は、事業の効果を評価するための仮定であり、実際にこのような仕組みが考えられているものではありません。

**問6** 【状況A】（整備前）から【状況B】（整備後）を実現するための負担金が毎月いくらまでならば事業に賛成されますか。実際に負担するつもりになって、お答えください。  
 なお、負担金はこの地域にお住いの間、支払い続けていただくことになることを、十分念頭においてお答えください。また、負担金はこの事業の実施と維持のためにのみ使われ、他の目的にはいっさい使われないこととします。

※下記の金額は、1世帯あたりの支払い金額です。

（回答例のように、少ない金額から順に、一つずつ選択してください。）

（回答記入欄）

負担金の金額	回 答 欄	
1. 月に 50 円(年間 600 円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
2. 月に 100 円(年間 1,200 円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
3. 月に 200 円(年間 2,400 円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
4. 月に 300 円(年間 3,600 円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
5. 月に 500 円(年間 6,000 円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
6. 月に 1,000 円(年間 12,000 円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
7. 月に 1,500 円(年間 18,000 円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する
8. 月に 2,000 円(年間 24,000 円)ならば、	1. 賛成する	2. 反対する

（回答例）

回 答 欄	
① 賛成する	2. 反対する
1. 賛成する	② 反対する
1. 賛成する	② 反対する
1. 賛成する	② 反対する
1. 賛成する	② 反対する

**問7** 問6で全てに反対、すなわち、「毎月 50 円」でも支払わない、とお答えになった方にお伺いします。

その理由は何ですか。あてはまる番号を 1 つ〇で囲んで下さい。

その他の場合、( ) の中に具体的にお書き下さい。

- 1) 事業が行なわれる方がよいと思うが、毎月 50 円（年間あたり 600 円）も支払う価値はないと思うから
- 2) たとえ支払いがなくても、この事業を行なわない方がよいと思うから
- 3) 国や自治体が税金を使って実施すべきだと思うから
- 4) 世帯から負担金を集めるとい仕組みに反対だから
- 5) これだけの情報では判断できない
- 6) その他 ( )

**問8** 問6で一つでも賛成、すなわち、負担金が発生してもよい、とお答えになった方にお伺いします。

その理由は何ですか。あてはまる番号を 1 つ〇で囲んで下さい。

その他の場合、( ) の中に具体的にお書き下さい。

- 1) 河川利用の安全性が向上するのはよいことだと思うから
- 2) 小瀬川沿いを連続して通れるようになると便利だから
- 3) 洪水の心配がなくなるから
- 4) 自分や家族にとっては価値はないが、他の世帯も支払うのであれば仕方がないから
- 5) その他 ( )

これで仮定の質問は終わりです。

## あなた自身のことについて

問9 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問10 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代      2. 20代      3. 30代      4. 40代  
5. 50代      6. 60代      7. 70代以上

問11 あなたの世帯で主な収入を得ておられる方のご職業をお答え下さい。

1. 農業      2. 林業      3. 会社員      4. 公務員      5. 自営業  
6. パート・アルバイト      7. 学生      8. 無職      9. その他 (    )

問12 あなたのお住まいの郵便番号を記入してください。

			-				
--	--	--	---	--	--	--	--

## 自由意見

問13 最後に「小瀬川（大竹地区・和木地区）における水辺整備」や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

アンケートは以上です。同封の返信用封筒に入れ、**8月11日(月)まで**に投函してください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***

小瀬川河口部の大竹地区、和木地区の川治いは、散歩やジョギング等、地域住民の方の交流や健康づくりの場として利用されています。

しかし、川治いには交通量の多い堤防治いの道路のほかに歩行空間がないため、危険と隣り合わせの状況になっています。



堤防治いの道路の状況



【現状】

川治いには交通量の多い堤防治いの道路のほかに歩行空間がないため、安全な河川利用をすることができません。

【整備前】

大竹地区 整備前の状況



平成13年4月撮影

和木地区 整備前の状況



平成26年7月撮影

- 河川管理用通路を整備する前は、車が多く歩道もない堤防道路を利用するため安全な河川利用ができません。

【整備後】

大竹地区 整備後の状況



平成25年11月撮影

和木地区 整備後の状況



平成26年4月撮影

- 河川管理用通路を整備することにより、安全な河川利用をすることができます。
- 整備箇所では散歩やウォーキング等で利用されています。

事業の効果

- 交通量が多い堤防道路ではなく、河川管理用通路を利用することにより安全に河川治いを移動できます。
- 河川管理用通路の整備により、中市堰～栄橋（国道2号）において水辺利用の連続性が確保され、利用する方の川への親しみが増します。

## 小瀬川「小瀬地区環境整備」に関する アンケートにご協力をお願いします。

平成 23 年 9 月

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

謹啓

時下、皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

このたび、太田川河川事務所では、「小瀬地区環境整備」事業について、その効果を評価するためのアンケート調査を実施することとなりました。この事業は小瀬川（小瀬地区）の水辺利用の安全性向上を目的とした事業です。

アンケートのご回答はすべて統計処理し、個々の調査結果に関しては一切公表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください（問 11 の自由意見に記入いただいたご意見は、個人情報を伏せた上で公表する可能性があります。）

なお、このアンケート調査の対象者は、調査箇所を利用される方がお住まいの地域から電話帳より無作為に選ばせていただきました。アンケートは、送付封筒に記載させていただきました宛名のご本人もしくはご家族の方がお答えください。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、本アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

謹白

### ■ご記入にあたって

- ご記入いただきました内容は全て統計的に処理しますので、個々の調査結果が公表されることは決してありません。（問 11 の自由意見に記入いただいたご意見は、個人情報を伏せた上で公表する可能性があります。）また、本調査の目的以外に使用することも決してありません。
- ご記入いただきましたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに **9 月 12 日（月）まで**にお近くの郵便ポストにご投函ください。

返信先：河川環境整備に関するアンケート事務局  
（調査委託会社 中電技術コンサルタント株式会社）

### ■アンケートについての問い合わせ

このアンケート調査は、国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所が実施しています。アンケート内容についてご不明な点等がございましたら、下記にお問い合わせください。

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所 計画課  
電話：082-222-9246 FAX:082-222-2432

小瀬川「小瀬地区環境整備」に関するアンケート票  
《こちらのアンケート票に直接、回答をご記入（該当箇所には○）  
いただき、返信用封筒に入れてお送りください。》

あなた自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。

1. 男性                      2. 女性

問2 あなたの年齢をお答えください。

1. 20代未満      2. 20代                      3. 30代                      4. 40代  
5. 50代                      6. 60代                      7. 70代以上

問3 あなたのご職業をお答えください。

1. 農業      2. 林業      3. 会社員      4. 公務員      5. 自営業  
6. パート・アルバイト      7. 学生      8. 無職      9. その他（ ）

問4 あなたがお住まいの地域の郵便番号を記入してください。

				-				
--	--	--	--	---	--	--	--	--

## 「小瀬地区環境整備」について

まず、以下の【事業説明資料】をご覧ください、次の質問にご回答ください。

### 小瀬地区環境整備

小瀬地区は、大竹市の史跡「木野渡し場」や周辺の文化財を含め、数多くの利用があります。しかし、水辺は雑草や雑木が繁茂するなど、安全に利用することができません。

#### 【背景】

河川敷には雑草などが繁茂していて、水辺に降りる河川管理用階段もなく、安全に水辺を利用することができません。



#### 【整備前】

- ・水辺に雑草や雑木が繁茂しています。
- ・河川管理用階段や坂路が近くになく、安全に水辺を利用することができません。

計画箇所の状況



雑草や雑木が繁茂し、安全に利用できない

#### 【整備後】

- ・雑草や雑木の繁茂している水辺を整備します。
- ・河川管理用階段や坂路が近くにあり、安全に水辺を利用できるようになります。

整備イメージ(中津原水辺の案例)



#### 事業の効果

- ・雑草や雑木が繁茂している水辺を整備することによって、安全に水辺の利用ができます。

問5 あなたは、小瀬川をご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. 名前は知っていた
4. まったく知らなかった

問6 あなたは、現在の小瀬川（小瀬地区）が、【事業説明資料】に示すように、“安全に水辺に近づきにくい”状況であることをご存じでしたか。

1. よく知っていた
2. ある程度は知っていた
3. まったく知らなかった

問7 あなたは、現在、小瀬川（小瀬地区）をどのくらい訪れていますか。□枠のあてはまるものを一つ選び、番号を○で囲んでください。下線部分 □は概ねの回数を記入してください。

また、「小瀬地区」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入してください。

- |                         |      |      |
|-------------------------|------|------|
| 1. 週                    | 2. 月 | 3. 年 |
| 4. 1年に1回未満（または行ったことがない） |      |      |

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均（ ）人

※4.を選択した方は、問10へ移動してください。

問8 どのような目的で小瀬川（小瀬地区）に行きましたか。

あてはまるものを全て選び、番号を○で囲んでください。（複数回答可）

1. 河川敷での野球などのスポーツ
2. 散歩やジョギング
3. バードウォッチング
4. サイクリング
5. 釣り
6. 水遊び
7. その他（ ）

問9 あなたは【事業説明資料】で示した全ての整備がなされたとしたら、この場所に何回くらい訪れると思いますか。□枠のあてはまるものを一つ選び、番号を○で囲んでください。下線部 □には概ねの回数を記入してください。

また、全ての整備がされた後に「小瀬地区」を訪れる場合のご自分以外の同行人数を記入してください。

- |                         |      |      |
|-------------------------|------|------|
| 1. 週                    | 2. 月 | 3. 年 |
| 4. 1年に1回未満（または行くつもりがない） |      |      |

に  回くらい  
ご自分以外の同行人数：平均（ ）人

問10 あなたのご自宅から小瀬川（小瀬地区）に行くとした場合、どんな交通手段を利用されますか。□枠のあてはまるものを一つ選び、番号を○で囲んでください。下線部分 □には概ねの時間を記入してください。

- |      |       |        |       |
|------|-------|--------|-------|
| 1. 車 | 2. バス | 3. 自転車 | 4. 徒歩 |
|------|-------|--------|-------|

で  分くらい

自由意見

問 11 最後に「小瀬地区環境整備」や、本アンケート調査に対するご意見がありましたらご記入ください。

**\*\*ご協力ありがとうございました\*\***

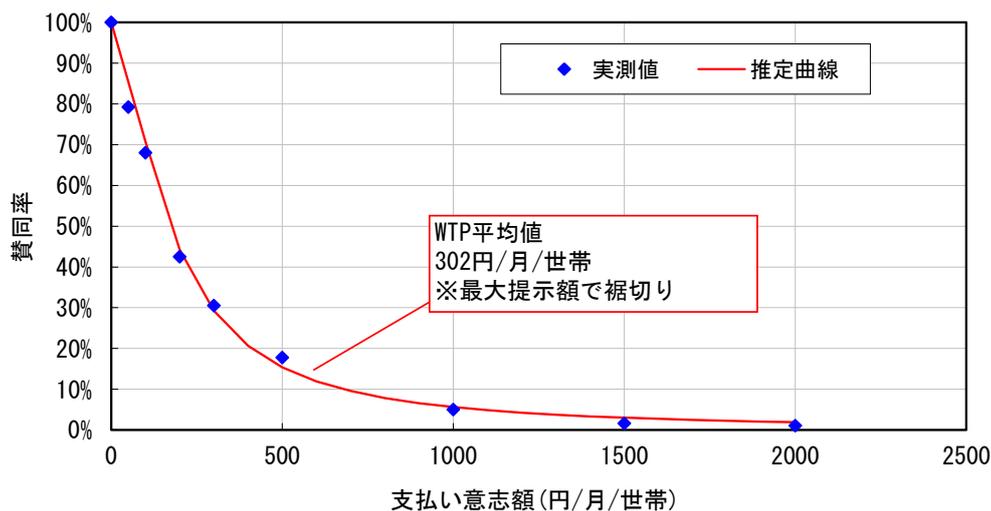
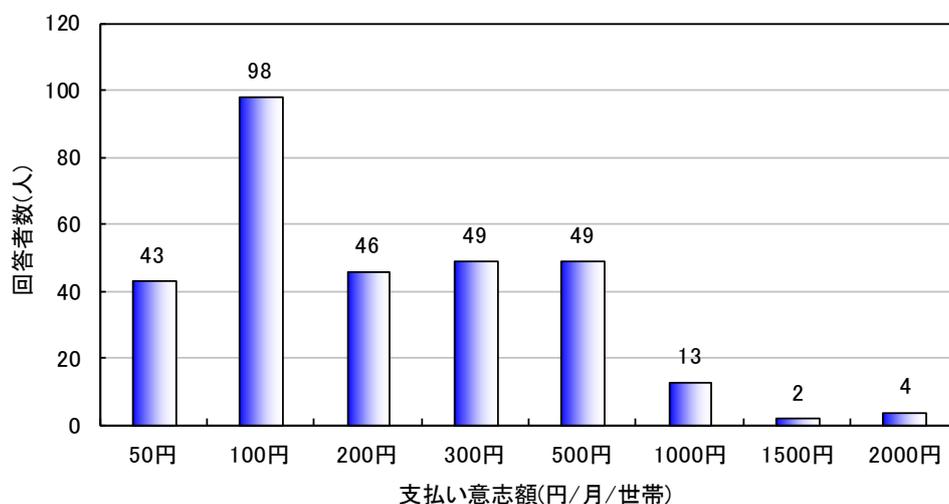
CVM 調査結果（大竹地区（本町・元町箇所）、和木地区河川管理用通路）

【事業全体】

(1) アンケート集計数

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率	抵抗回答	無効回答
2,200	712	32.4%	384	53.9%	151	177

(2) WTP 算定結果



(3) 便益・費用算定結果

年便益(百万円)	B(百万円)	C(百万円)
90.0	1,728	1,705

◇B は残存価値を加算した。

◇年便益=WTP×12ヶ月×受益世帯数

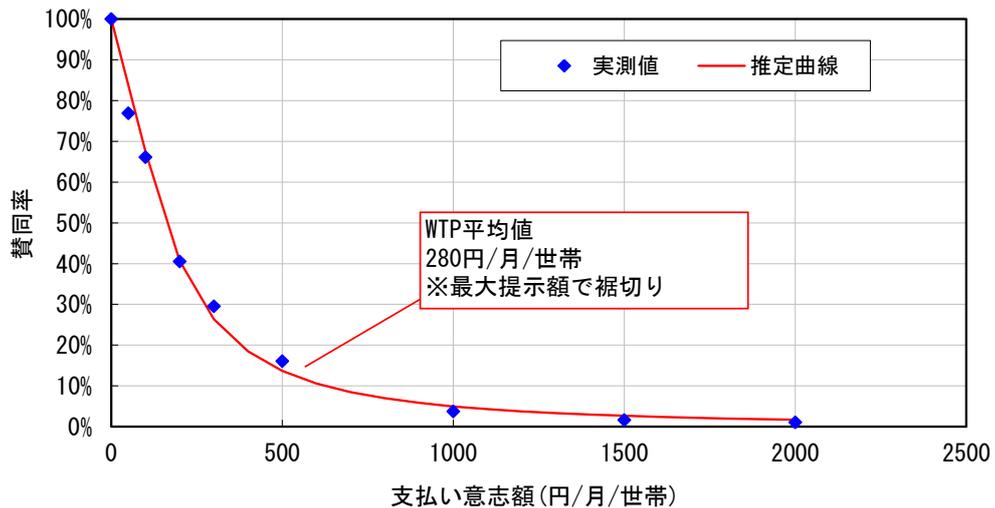
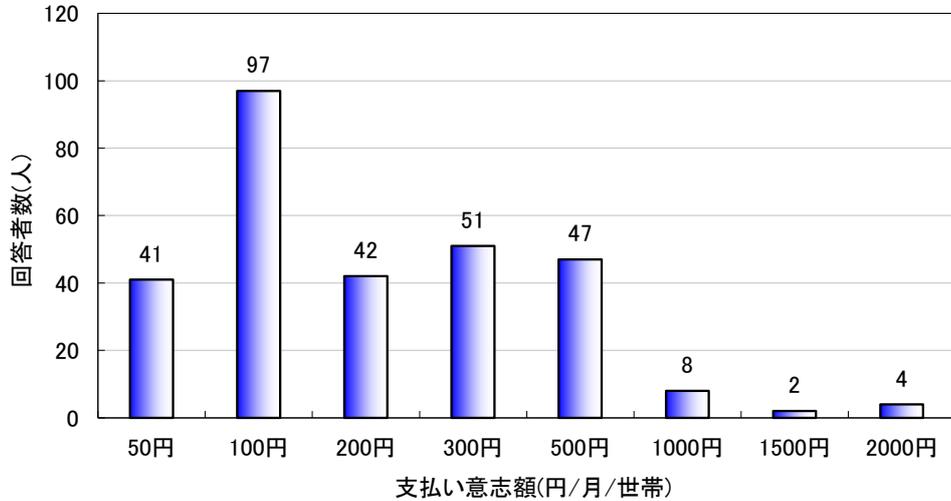
=302×12×24,839世帯=90.0百万円

【残事業】

(1) アンケート集計数

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率	抵抗回答	無効回答
2,200	712	32.4%	380	53.4%	148	184

(2) WTP 算定結果



(3) 便益・費用算定結果

年便益(百万円)	B(百万円)	C(百万円)
83.5	1,597	240

◇B は残存価値を加算した。

◇年便益=WTP×12ヶ月×受益世帯数  
=280×12×24,839世帯=83.5百万円

TCM 調査結果 (小瀬地区環境整備)

(1) アンケート集計数

箇所名	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
小瀬地区環境整備	1,400	592	42.3%	549	92.7%

(2) トラベルコスト算定結果

ゾーン	<整備前> 利用頻度 (回/年)	<整備後> 利用頻度 (回/年)	旅行 費用 (円/回)
1	40.17	46.10	117
2	22.89	24.06	205
3	2.22	3.29	410
4	1.69	1.93	601

(3) 便益・費用算定結果

年便益(百万円)	B(百万円)	C(百万円)
56.4	960	93

◇Bは残存価値を加算した。

◇年便益 = 整備後の消費者余剰－整備前の消費者余剰  
 = 451.8 百万円－395.4 百万円  
 = 56.4 百万円

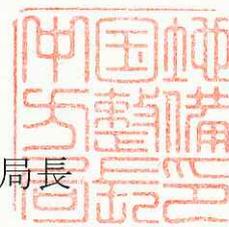
## 小瀬川総合水系環境整備事業

〔広島県への意見照会と回答〕

国中整企画第47号  
国中整港計第25号  
平成26年11月20日

広島県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の  
作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、  
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通  
省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に  
基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その  
効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委  
員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針  
(原案)について審議しております。

このたび、平成26年12月16日(火)に委員会を開催するこ  
ととなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原  
案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼い  
たします。

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
太田川直轄河川改修事業	継続	
芦田川総合水系環境整備事業	継続	
太田川総合水系環境整備事業	継続	
小瀬川総合水系環境整備事業	継続	

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道2号 西広島バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限：平成26年12月3日(水)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 加田

施策分析評価係長 森浦

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651

土総第10125号

平成26年12月3日

中国地方整備局長 様

広島県知事  
(土木総務課)



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成26年11月20日付け国中整企画第47号及び国中整港計第25号で依頼のこのことについて、対応方針（原案）については、異存ありません。

なお、個別の事業についての意見については、別紙のとおりです。

- 河川事業 太田川直轄河川改修事業、芦田川総合水系環境整備事業  
太田川総合水系環境整備事業、小瀬川総合水系環境整備事業

担当 調整グループ

電話 082-513-3814

(担当者 北林)



## 中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）に対する意見

## 【河川事業】

事業名	太田川直轄河川改修事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	異存はありません
(具体的意見) 治水安全度の向上，費用対効果，地元の協力体制等の観点からも事業の継続に異議はありません。今後も引き続きコストの縮減に努めながら，計画的に整備を進めていただきたい。	
事業名	芦田川総合水系環境整備事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	異存はありません
(具体的意見) 河川環境に対する住民の要望は強く，各関係機関並びに地域の協力体制も構築され，流域が一体となった水質改善への取組が行われています。今後も引き続き，地域との協力体制を確立するとともに，コストの縮減に努めながら，計画的に整備を進めていただきたい。	
事業名	太田川総合水系環境整備事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	異存はありません
(具体的意見) 河川環境に対する住民の要望は強く，各関係機関並びに地域の協力体制も構築され，底質改善への取組，水辺利用者が安全・快適に水辺空間が利用できるよう河川管理用通路，河川巡視等河川管理の向上を図るためアンダーパスの整備が行われています。今後も引き続き，地域との協力体制を確立するとともに，コストの縮減に努めながら，計画的に整備を進めていただきたい。	
事業名	小瀬川総合水系環境整備事業
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	異存はありません
(具体的意見) 河川環境に対する住民の要望は強く，各関係機関並びに地域の協力体制も構築され，水辺利用者が安全・快適に水辺空間が利用できるよう河川管理用通路の整備が行われています。今後も引き続きコストの縮減に努めながら，計画的に整備を進めていただきたい。	

## 小瀬川総合水系環境整備事業

〔山口県への意見照会と回答〕



国中整企画第47号  
国中整港計第25号  
平成26年11月20日

山口県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の  
作成に係る意見照会について(ご依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、  
ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通  
省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に  
基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その  
効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委  
員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針  
(原案)について審議しております。

このたび、平成26年12月16日(火)に委員会を開催するこ  
ととなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原  
案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼い  
たします。

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
小瀬川総合水系環境整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る  
対応方針(原案)を作成するためのものです。

■ご意見の送付期限 : 平成26年12月3日(水)までをお願いします。

※様式自由

■送付先

〒730-8530

広島市中区上八丁堀6-30

中国地方整備局 企画部 企画課長 宛

■お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

課長補佐 加田

施策分析評価係長 森浦

TEL:082-221-9231(代表)

FAX:082-227-2651



平26技術管理 第656号  
平成26年(2014年)12月1日

中国地方整備局長 様

山口県知事 村岡 嗣政



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る  
意見照会について(回答)

平成26年11月20日付け国中整企画第47号で意見照会がありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

事業名	小瀬川総合水系環境整備事業
「対応方針(原案)」案に対する意見 【「対応方針(原案)」案:継続】	異存なし
(意見)  早期完成に向けて、コストの縮減等を考慮の上、事業を進めていただきたい。	

担当  
土木建築部技術管理課  
企画班 高原 達男  
TEL 083-933-3632/FAX 083-933-3669

